

令和7年度 数学1学年 年間指導計画と観点別評価規準

学年目標

- (1) 正の数と負の数，文字を用いた式と一元一次方程式，平面図形と空間図形，比例と反比例，データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数理的に捉えたり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 数の範囲を拡張し，数の性質や計算について考察したり，文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素や構成の仕方に着目し，図形の性質や関係を直観的に捉え論理的に考察する力，数量の変化や対応に着目して関数関係を見いだし，その特徴を表，式，グラフなどで考察する力，データの分布に着目し，その傾向を読み取り批判的に考察して判断したり，不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
- (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気付いて粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って検討しようとする態度，多面的に捉え考えようとする態度を養う。

学期	月	単元(指導時間)	内容のまとめ	観 点 別 評 価 規 準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一学期 二学期	4~9	正の数と負の数 (27 時間) 文字と式 (22 時間) 1 次方程式 (17 時間)	数と式	正の数と負の数，文字と式，方程式などの必要性と意味，表し方，読み取り方を理解し，その四則計算や具体的な場面での表現と処理，簡単な一元一次方程式を解くことができる。	正の数と負の数の四則計算や一次式の加法と減法の計算，一次方程式を解く方法を考察し表現することができる。それらを具体的な場面で活用することができる。	正の数と負の数，文字を用いること，一元一次方程式よさに気付いて粘り強く考え，それらについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり，それらを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。
	9~11	比例と反比例 (22 時間)	関数	関数関係，比例，反比例，座標の意味を理解し，比例，反比例を表，式，グラフなどに表すことができる。	比例，反比例として捉えられる二つの数量について，表，式，グラフなどを用いて調べ，それらの変化や対応の特徴を見いだすことができ，それらを用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。	比例，反比例のよさに気付いて粘り強く考え，比例，反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり，比例，反比例を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。
三学期	11~1	平面図形 (17 時間) 空間図形 (22 時間)	図形	基本的な作図の方法，平行移動，対称移動，回転移動，空間における直線や平面の位置関係について理解し，扇形の弧の長さや面積，基本的な柱体や錐体，球の表面積と体積を求めることができる。	基本的な作図の方法，移動する二つの図形の関係，立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。それらを具体的な場面で活用することができる。	平面図形，空間図形の性質や関係を捉えることよさに気付いて粘り強く考え，それらについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり，それらを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたりしている。
	1~3	データの活用 (13 時間)	データの活用	ヒストグラムや相対度数，多数の観察や多数回の試行によって得られる確率などの必要性と意味を理解し，コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。	目的に応じてデータを収集して分析し，そのデータの分布の傾向を読み取り，批判的に考察し判断することや，多数の観察や多数回の試行の結果を基にして，不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。	ヒストグラムや相対度数，多数の観察や多数回の試行によって得られる確率などのよさに気付いて粘り強く考え，データの分布や不確定な事象の起こりやすさについて学んだことを生活や学習に生かそうとしたり，それらを活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしたり，多面的に捉え考えようとしたりしている。
年間授業時数		140 時間				

数学 1 学 年 評 価 ・ 評 定 用 資 料

月	学習内容	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
4	【符号のついた数】 正の符号, 負の符号 正の数, 負の数の表し方 自然数の定義 ちがいを符号を使って表す 位置を符号を使って表す 移動を符号を使って表す 反対の性質をもつ数量を表す	○正の数と負の数の必要性と意味について, それらが使われている具体的な場面に結び付けて理解している。 ○基準とのちがいや反対の性質をもつ数量を, 符号のついた数で表すことができる。	A B C	○基準のとり方と表される数の関係について考察し, 説明することができる。	A B C	○正の数と負の数の必要性と意味を考えようとしている。	A B C
	【数の大小】 数直線 数の大小を不等号を使って表す 絶対値 数の大小	○正の数と負の数を数直線上に表すことができる。	A B C	○数の範囲を負の数に拡張した数直線について考えることができる。 ○正の数と負の数の大小関係について, 数直線と絶対値をもとに説明することができる。	A B C		
	【加法】 符号が同じ数の和 符号が異なる数の和 正の数, 負の数の加法のまとめ 0との和 加法の計算法則	○正の数と負の数の加法の計算方法を理解し, その計算ができる。 ○正の数と負の数の加法において交換法則と結合法則が成り立つことを理解し, 法則を利用した計算ができる。	A B C	○既習の計算をもとにして, 符号の異なる加法の計算方法を見だし, 符号や絶対値などに着目してまとめることができる。	A B C	○正の数と負の数の加法の計算方法を考えようとしている。	A B C
	【減法】 正の数をひく計算 負の数をひく計算 正の数, 負の数の減法のまとめ 0との差 小数, 分数の計算	○正の数と負の数の減法の計算方法を理解し, その計算ができる。	A B C	○既習の計算をもとにして, 減法の計算方法を考察し, 数直線を使って説明することができる。 ○正の数と負の数の減法の結果についてまとめ, 説明することができる。	A B C	○正の数と負の数の減法の計算方法を考えようとしている。	A B C
	【加法と減法の混じった式】 正の項, 負の項 項を並べた式の計算 加法と減法の混じった式の計算	○加法と減法の混じった式の計算方法を理解し, その計算ができる。	A B C	○加法と減法を統一的にみて, 加法と減法の混じった式を正の項や負の項の和として捉えることができる。	A B C	○加法と減法を統一的にみて, 減法を加法の計算と捉えようとしている。	A B C
	【乗法】 正×正, 正×負 の意味 負×正, 負×負 の意味 正の数, 負の数の乗法のまとめ 乗法の計算 -1 や 1 との積 小数, 分数の乗法 乗法の計算法則 積の符号と絶対値 累乗の指数を使って表す	○正の数と負の数の乗法の計算方法を理解し, その計算ができる。 ○正の数と負の数の乗法において交換法則と結合法則が成り立つことを理解し, 法則を利用した計算ができる。	A B C	○東西の移動をもとにして, 乗法の計算方法を見だし, 説明することができる。 ○乗法と積の符号のきまりについて考察し, 説明することができる。	A B C	○正の数と負の数の乗法の計算方法を考えようとしている。	A B C
5							

累乗の計算					
【除法】 除法の意味 正の数、負の数の除法のまとめ 除法の計算 小数の除法 正の数、負の数の除法と分数 逆数 除法を乗法になおして計算する 乗法と除法の混じった式の計算	<input type="checkbox"/> 正の数と負の数の除法の計算方法を理解し、その計算ができる。	A <input type="checkbox"/> 既習の計算をもとにして、除法の計算方法を考察し、説明することができる。 B <input type="checkbox"/> 乗法と除法を統一的にみて、逆数を用いて除法を乗法の計算と捉えることができる。 C	A <input type="checkbox"/> 正の数と負の数の除法の計算方法を考えようとしている。 B <input type="checkbox"/> 乗法と除法を統一的にみて、除法を乗法の計算と捉えようとしている。 C	A B C	
【四則】 計算の順序 加法と乗法の混じった式の計算 四則の混じった式の計算 分配法則とその利用 数の集合 数の集合と四則計算	<input type="checkbox"/> 四則の混じった式の計算順序を理解し、その計算ができる。 <input type="checkbox"/> 正の数と負の数の計算において分配法則が成り立つことを理解し、法則を利用した計算ができる。	A <input type="checkbox"/> 数の集合とその集合における四則計算の可能性について捉え直すことができる。 B C	A B C	A B C	
【素因数分解】 素数、素因数の意味 素因数分解	<input type="checkbox"/> 自然数を素因数分解することができる。 <input type="checkbox"/> 自然数を素因数分解するとき、分解の順序を変えても、整理すると結果は同じ素数の積になることを理解している。	A <input type="checkbox"/> 自然数を素数の積で表すことにより、約数、倍数などの整数の性質について捉え直すことができる。 B C	A B C	A B C	
【正の数、負の数の利用】 基準を決めて平均を求める(仮平均) 負の数で表されたことがらの意味を読み取る	<input type="checkbox"/> 正の数と負の数を用いて変化や状況をわかりやすく表したり、能率的に処理したりすることができる。 <input type="checkbox"/> 身のまわりの事象を、正の数と負の数を用いて整理して表すことができる。	A <input type="checkbox"/> 正の数と負の数を具体的な場面で利用することができる。 B C	A <input type="checkbox"/> 正の数と負の数について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 B <input type="checkbox"/> 正の数と負の数を利用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 C	A B C	
【文字を使った式】 文字の必要性和意味 規則性と文字式 数量を文字式で表す 計算法則を文字式で表す	<input type="checkbox"/> 文字を用いることの必要性和意味を理解している。 <input type="checkbox"/> 文字式で表された数量が、操作の方法を表しているとともに、操作の結果も表しているということを理解している。	A <input type="checkbox"/> 規則的に変化する事象を、文字式を使って一般的に表すことができる。 B <input type="checkbox"/> 1種類の文字で表された式と2種類の文字で表された式のちがいを考察し、説明することができる。 C	A <input type="checkbox"/> 文字を用いることの必要性和意味を考えようとしている。 B C	A B C	
【文字式の表し方】 積の表し方 同じ文字の積の表し方 商の表し方 積と商の混じった式の表し方 いろいろな式の表し方 文字式を \times 、 \div を使って表す	<input type="checkbox"/> 文字を用いた式における乗法と除法の表し方を理解し、表し方にしたがって表すことができる。	A B C			
【いろいろな数量の表し方】 代金に関する文字式 割合に関する文字式 速さや道のりに関する文字式 単位を揃えて表す 円周の長さ	<input type="checkbox"/> 文字を用いて数量の関係や法則を簡潔に表すことができる。 <input type="checkbox"/> 単位が異なる数量の和や差について、単位をそろえて1つの式に表すことができる。	A B C			
【式の値】	<input type="checkbox"/> 文字を用いた式の文字にいろいろな数を代入して式の値	A <input type="checkbox"/> 求めた式の値を具体的な場面と結び付けて考えることが	A		

	<p>代入の意味と方法 1種類の文字の式に代入 2種類の文字の式に代入</p>	を求めることができる。	B C	できる。	B C		
	<p>【1次式の加法，減法】 項と係数 式をまとめる（文字の項のみ） 式をまとめる（文字の項と数の項） 1次式の加法 1次式の減法</p>	○1次式の加法と減法の計算方法を理解し，その計算ができる。	A B C	○1次式の加法と減法について，数の計算と関連付けて考え，説明することができる。 ○1次式の加法と減法について，具体的な場面と関連付けて考え，説明することができる。	A B C	○1次式の加法と減法の計算方法を考えようとしている。	A B C
7	<p>【1次式と数の乗法，除法】 1次式と数の乗法 1次式と数の除法 項が2つある1次式と数の乗法 項が2つある1次式と数の除法 分数の形の式と数の乗法 いろいろな1次式の計算</p>	○1次式と数の乗法と除法の計算方法を理解し，その計算ができる。	A B C			○1次式と数の乗法と除法の計算方法を考えようとしている。	A B C
	<p>【文字式の利用】 文字式の表す数量 文字式の利用</p>			○文字式が表す数量を，具体的な数に置き換えて考えることができる。 ○文字式を具体的な場面で利用することができる。	A B C	○文字式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○文字式を利用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	A B C
	<p>【関係を表す式】 等式の意味 不等式の意味 以上，以下，未満 等式や不等式の表し方 等式や不等式が表す関係</p>	○数量の相等関係を等式で表したり，等式から数量の相等関係を読み取ることができる。 ○数量の大小関係を不等式で表したり，不等式から数量の大小関係を読み取ることができる。	A B C				
	<p>【方程式とその解】 等式を成り立たせる文字の値 方程式の解の意味</p>	○方程式の必要性と意味を理解している。 ○方程式の解の意味を理解している。	A B C			○方程式の必要性と意味を考えようとしている。	A B C
	<p>【等式の性質】 等式の性質 両辺に同じ数をたして解く 両辺から同じ数をひいて解く 両辺に同じ数をかけて解く 両辺を同じ数でわって解く 等式の性質を使って方程式を解く</p>	○方程式の代数的な操作のよさを理解している。 ○等式の性質をもとにして式を変形し，解を求めることができる。	A B C	○等式の性質をもとにして方程式を解く方法について考察し，説明することができる。 ○等式の性質の[1]と[2]，[3]と[4]をそれぞれ統合的にみることができる。	A B C		
8	<p>【1次方程式の解き方】 移項を利用した方程式の解き方 2つの項を同時に移項して解く かっこのある1次方程式 係数に小数をふくむ1次方程式 係数に分数をふくむ1次方程式 1次方程式を解く手順のまとめ</p>	○移項の意味と手順を理解し，能率的に解を求めることができる。	A B C	○式変形の過程を考察し，方程式を解く一般的な手順をまとめることができる。	A B C	○いろいろな方程式を能率的に解く方法を考えようとしている。	A B C
9							

10	<p>【比例式】</p> <p>比例式 比例式を満たすxの値を求める 比例式の性質を利用してxの値を求める</p>	<p>○比例式を比の値にもとづいて変形し、方程式とみることができる。</p> <p>○簡単な比例式について、式を成り立たせるxの値を求めることができる。</p>	A B C				
	<p>【1次方程式の利用】</p> <p>1次方程式をつくる手順と解き方 代金や所持金の問題 過不足に関する問題 速さに関する問題 解の吟味の必要性</p>	<p>○方程式を利用して具体的な場面における問題を解決する手順を理解している。</p> <p>○求めた解がもとの問題の答えとして適切なものであるかどうかを確かめることができる。</p>	A B C	○方程式を具体的な場面で利用することができる。	A B C	○方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○方程式を利用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	A B C
	<p>【関数】</p> <p>関数の意味 xとyの関係と表 変数, 変域 不等式による変域の表し方</p>	<p>○関数の意味を理解している。</p> <p>○変数, 変域の意味を理解している。</p>	A B C	○具体的な事象から関数関係を見だし, 見いだした関係について説明することができる。	A B C		
	<p>【比例】</p> <p>比例の意味 定数, 比例定数の意味 比例の関係と変域 変域を負の数にひろげた場合の比例の関係 比例の式の求め方</p>	<p>○比例の関係を式に表すことができる。</p>	A B C	○比例の関係を負の範囲に拡張し, 関数関係として捉え直すことができる。 ○xとyの関係を表に整理して, 変化と対応を調べることができる。	A B C	○比例の関係を, 変域や比例定数が負の数の場合に拡げて考えようとしている。	A B C
	<p>【座標】</p> <p>座標に関する定義と意味 座標平面 点の読み取り 点を座標平面上に表す</p>	<p>○座標平面上の点の位置を読み取ったり, 座標として表したりすることができる。</p>	A B C				
	<p>【比例のグラフ】</p> <p>比例の関係を点プロットで図に示す 比例のグラフとその形 比例のグラフをかく グラフから比例の式を求める</p>	<p>○比例の関係をグラフに表すことができる。</p> <p>○比例のグラフの特徴を理解している。</p>	A B C	○比例の表, 式, グラフを相互に関連付けてみることができる。	A B C	○比例の表, 式, グラフを相互に関連付けようとしている。	A B C
	<p>【反比例】</p> <p>反比例の意味 反比例を表す式, 比例定数の意味 変域を負の数にひろげた場合の反比例の関係 反比例の式の求め方</p>	<p>○反比例の関係を式に表すことができる。</p>	A B C	○反比例の関係を負の範囲に拡張し, 関数関係として捉え直すことができる。 ○xとyの関係を表に整理して, 変化と対応を調べることができる。	A B C	○反比例の関係を, 変域や比例定数が負の数の場合に拡げて考えようとしている。	A B C
	<p>【反比例のグラフ】</p> <p>反比例の関係を点プロットで図に示す 反比例のグラフとその形 反比例のグラフをかく 反比例のグラフの特徴のまとめ</p>	<p>○反比例の関係をグラフに表すことができる。</p> <p>○反比例のグラフの特徴を理解している。</p>	A B C	○反比例の表, 式, グラフを相互に関連付けてみることができる。	A B C	○反比例の表, 式, グラフを相互に関連付けようとしている。	A B C

11	【比例と反比例の利用】 比例の関係の利用 反比例の関係の利用 グラフから読み取る		<input type="checkbox"/> 具体的な事象を比例、反比例とみなし、式、表、グラフを利用して考察することができる。	A B C	<input type="checkbox"/> 比例、反比例について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 <input type="checkbox"/> 比例、反比例を利用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。	A B C	
	【平面上の直線】 直線、線分などに関する定義 点と点の距離 角の表し方 点と直線の距離 2直線の平行 直線と直線の距離	<input type="checkbox"/> 平面上の点や直線の位置関係をとらえることができる。 <input type="checkbox"/> 記号を用いて、点や直線の関係、角を表すことができる。	A B C				
12	【図形の移動】 三角形の表し方 移動の意味 3つの移動の意味 3つの移動の性質 点対称移動 図形の移動の組み合わせ	<input type="checkbox"/> 平行移動、対称移動、回転移動の意味ときまりを理解している。 <input type="checkbox"/> 移動前と移動後の2つの図形の関係を理解している。	<input type="checkbox"/> 移動前と移動後の2つの図形の関係に着目して図形の性質や関係を見だし、説明することができる。 <input type="checkbox"/> 図形の移動を具体的な場面で利用することができる。	A B C	<input type="checkbox"/> 2つの図形がどのような移動によって重なるかについて、多様な方法を考えようとしている。 <input type="checkbox"/> 移動前と移動後の2つの図形の関係について考えようとしている。	A B C	
	【作図の基本】 作図の意味と約束ごと 中点、垂直二等分線の意味 垂直二等分線の作図とその性質 角の二等分線の意味 角の二等分線の作図とその性質 垂線の意味とその作図	<input type="checkbox"/> 垂直二等分線、角の二等分線、垂線を作図する方法を理解している。	A B C	<input type="checkbox"/> 図形の対称性や図形を決定する要素に着目して基本的な作図の方法を見だし、説明することができる。 <input type="checkbox"/> 基本的な作図の方法について、図形の対称性をもとに統合的にみることができる。	A B C	<input type="checkbox"/> 作図の方法について、図形の対称性をもとにして考えようとしている。	A B C
	【円】 円に関する用語 円の弦の性質 円の周の長さ、面積 円と直線、接線の性質 円の接線に関する作図	<input type="checkbox"/> 円の弦の性質を理解している。	A B C	<input type="checkbox"/> 円の対称性に着目して円の接線を作図する方法を見出すことができる。	A B C		
	【いろいろな立体】 多面体の分類 角錐、円錐の意味と用語 立体の面の形と数 正多面体の意味と種類	<input type="checkbox"/> 多面体、角錐、円錐の意味やそれらの特徴を理解している。	A B C	<input type="checkbox"/> 構成要素に着目して立体の特徴を考察し、説明することができる。	A B C	<input type="checkbox"/> 立体を多面的に考察しようとしている。	A B C
	【空間における平面と直線】 平面の決定 空間における2直線の位置関係 直線と平面の位置関係 2平面の位置関係 直線や平面の位置関係のまとめ	<input type="checkbox"/> 空間において直線や平面がどのように決定されるかを理解している。 <input type="checkbox"/> 空間における直線や平面の位置関係を理解している。	<input type="checkbox"/> 空間における直線や平面の位置関係について考察し、説明することができる。	A B C	<input type="checkbox"/> 現実の世界の具体物を数学的に捉え考察しようとしている。	A B C	
	【立体のいろいろな見方】 点と平面の距離 2平面の距離 面や線が動いてできる立体	<input type="checkbox"/> 立体を、平面図形の運動によって構成されたものとみることができる。	<input type="checkbox"/> 見取図と投影図を相互に関連付けてみることができる。	A B C			

1	<p>回転体の意味 投影図の意味 投影図の読み取り，投影図をかく</p>						
	<p>【立体の体積】 角柱，円柱の体積 角錐，円錐の体積</p>	<p>○角柱，円柱，角錐，円錐の体積の求め方を理解し，それらを求めることができる。</p>	<p>A B C</p>		<p>○角柱，円柱，角錐，円錐の体積の求め方を考えようとしている。</p>	<p>A B C</p>	
	<p>【立体の展開図】 角柱，円柱の展開図と長さ 角錐の展開図と長さ おうぎ形の定義 円錐の展開図と長さ</p>			<p>○見取図と展開図を相互に関連付けてみるができる。</p>	<p>A B C</p>		
	<p>【おうぎ形の計量】 おうぎ形の弧の長さや面積 おうぎ形の面積を半径と弧の長さを使って求める おうぎ形の中心角の求め方</p>	<p>○おうぎ形の弧の長さや面積が中心角の大きさに比例することを理解している。 ○おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。</p>	<p>A B C</p>	<p>○おうぎ形の中心角の大きさと弧の長さや面積にどのような関係があるか考察し，説明することができる。</p>	<p>A B C</p>		
	<p>【立体の表面積】 角柱，円柱の表面積 角錐，円錐の表面積</p>	<p>○角柱，円柱，角錐，円錐の表面積の求め方を理解し，それらを求めることができる。</p>	<p>A B C</p>			<p>○角柱，円柱，角錐，円錐の表面積の求め方を考えようとしている。</p>	<p>A B C</p>
	<p>【球の体積と表面積】 球の体積の求め方 球の表面積の求め方</p>	<p>○球の体積や表面積を求めることができる。</p>	<p>A B C</p>				
2	<p>【度数の分布とヒストグラム】 データの範囲 度数分布表の作り方と見方 ヒストグラムの作り方 度数折れ線の作り方</p>	<p>○ヒストグラムの必要性和意味を理解している。 ○データを表やグラフに整理することができる。</p>	<p>A B C</p>	<p>○データを分析して分布の傾向を読み取り，批判的に考察し判断することができる。</p>	<p>A B C</p>	<p>○ヒストグラムの必要性和意味を考えようとしている。 ○データの傾向を読み取り，批判的に考察しようとしている。</p>	<p>A B C</p>
	<p>【データの比較】 相対度数の求め方と読み取り 相対度数折れ線の意味</p>	<p>○相対度数の必要性和意味を理解している。</p>	<p>A B C</p>			<p>○相対度数の必要性和意味を考えようとしている。</p>	<p>A B C</p>
	<p>【累積度数】 累積度数 累積度数分布表 累積相対度数</p>					<p>○データの分布について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。</p>	<p>A B C</p>
3	<p>【ことがらの起こりやすさ】 ことがらの起こりやすさ 統計における男女の出生比率 確率の考え方の利用</p>	<p>○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を理解している。</p>	<p>A B C</p>	<p>○多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして，事象の起こりやすさの傾向を読み取り，説明することができる。</p>	<p>A B C</p>	<p>○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性和意味を考えようとしている。 ○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ○多数の観察や多数回の試行によって得られる確率を利用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。</p>	<p>A B C</p>

